

道教組

2019年7月8日発行

DOKYOSO NEWS VOL.550

教職員とその家族を守る
全教自動車保険

5つの特徴

- ①無事故割引を引き継ぎます
- ②団体扱い割引を10%に拡大
- ③家族の車もまとめるとさらに割引
- ④退職者もメリット引き継ぎで安心
- ⑤申し込んだその日から安心

有限会社 川上企画

(道教組指定代理店)

札幌市中央区大通西12丁目4-78

TEL:0120-222-789 FAX:011-218-2472

政府が「骨太方針2019」を閣議決定 子どもたち一人ひとりが 人間として大切にされる教育政策をこそ

6月21日、政府は「経済財政運営の改革の基本方針2019」（「骨太方針2019」と）と「成長戦略実行計画」を閣議決定しました。

その内容は「アベノミクス」の成功によって景気が「長期にわたる回復を継続」という認識から始まり、10月から消費税率を10%へ引き上げることが明記するとともに、暮らしを支える社会保障費を圧縮する方針も堅持しています。一方で、大企業のもうけ優先の政策は盛りだくさんです。教育についても、強く懸念される内容が示されています。

「グローバル人材」の育成に 特化した教育へ

「Society5.0時代にふさわしい仕組みづくり」の「人づくり革命」として、「従来の型にはまった教育システムを複線型に転換するなど、多様性を追求できる仕組みに改革する」と、公教育として守ってきた平等さや公平さを変質させるねらいが示されています。

そして、「初等中等教育改革等」では「義務教育における基礎・基本の習得の上に、教育システムを複線型に転換」

すると、教育そのものの構造「改革」を企図しています。

「児童・生徒に個別最適化された教育を効果的・効率的に実現」とありますが、一部の「エリート人材」育成には金も人もかけるがそれ以外には「個別最適化」という教育の切り売りといえる「教材」の提供等で初等中等教育段階に分断と差別を持ち込むものです。

これは、「その能力に応じて、ひとしく教育を受ける権利を有する」（憲法26条）としたすべての子どもたちに学習権を保障する立場から大きく逸脱するものです。

「教育データのデジタル化 ・標準化」をすすめる

「個別最適化」を支えるICTの活用について、「希望する全ての小・中・高等学校等で遠隔教育を活用」することが強調されています。ICT環境整備に地域間格差があり、個人情報保護などの十分な対応ができないまま「教育データのデジタル化・標準化」をすすめることは大変危険です。民間事業者の公教育への参入が激しさを増す中、子どもたちのビッグデータが民間に利用される事態を招くことは明らかで、

ICT活用については慎重な検討が求められます。

1年単位の变形労働時間制 の導入を明記

「教育課程、教員養成・免許・採用・研修制度等について総合的な検討を行い、2020年度中に結論を得る」と具体的な日程を示していることにも注視が必要です。

また、学校における働き方改革として「1年単位の变形労働時間制の導入」をわざわざ書き込み、学校・教職員に押し付けようとしていることも大きな問題です。

ゆきとどいた教育の実現へ、 運動を大きく広げよう

政府は、「骨太方針」に沿った教育政策ではなく、憲法・子どもの権利条約にもとづき子どもたちの学ぶ権利を保障し、子どもたち一人ひとりを人間として大切に教育・学校づくりをすすめる教育政策をこそ、実現させるべきです。

これから始まる教育全国署名を大きく広げ、国民の声で、ゆきとどいた教育を実現させていきましょう。

※Society5.0とは

狩猟社会、農耕社会、工業社会、情報社会に続く5番目の社会のことで、2016年度から5年間の科学技術政策の基本方針「第5期科学技術基本計画」で打ち出されたものです。

えがお署名を提出 全国で77777筆

7月5日に、「えがお署名」提出行動および教育全国署名スタート集会が行われ、道教組からは新保副委員長が参加しました。

文科省に提出したえがお署名は、77777筆（道教組集約分は2292筆）でした。

「教育予算をふやして、みんなの笑顔かがやく楽しい学校をつくりたい！」との声を文科省の概算要求に盛り込むことを求めてとりくまれました。

この日は、省庁や政党、国会議員に対してゆきとどいた教育を求める要請行動が行われ、その後、ゆきとどいた教育を求める全国署名スタート集会で各地のとりくみ交流や意思統一が行われました。

北海道教育全国署名スタート集会は、7月20日に行われます。「教育全国署名」の重要性を今の教育問題と重ねて学習すること、地域とのつながりを広げてゆきとどいた教育実現の輪を広げていくことが大切です。



夏の集い合い・学び合い

○道教組・北海道子どもセンター共催「夏の学習会」

今、私たちが抱えている困難をどう乗り越え、職場づくりをどのようにすすめていくのか、私たちが強く踏み出すきっかけにする学習会として企画しました。

講師に宮下直樹全教副委員長をお迎えし、「全教運動の魅力」をたっぷり語っていただきます。そして、3名のパネラーとともに、組合づくり・職場づくりについてともに考え、学び合しましょう。

日時 8月2日（金）13時30分～16時30分

会場 北海道労働センター3階会議室

テーマ 教職員組合の魅力を語り、仲間の輪を広げよう

講師 宮下 直樹 さん（全日本教職員組合中央執行副委員長）

パネラー 内藤修司さん、山本仁史さん、高橋浩之さん



○第58回道民教合同研究宗谷集会

道民教（北海道民間教育研究団体連絡協議会）合同研究集会が、今年は稚内市で開催されます。宗谷教組の組合員も、現地での準備・運営に関わって集会を支えています。

夏休み中の研修の絶好の機会です。内容も、とても魅力的です。夏の研修の場としておすすめします。

日時 7月27日（土）13時30分～28日（日）15時30分

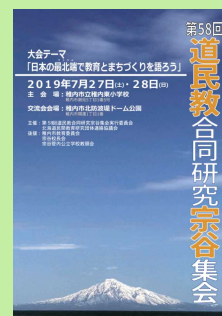
会場 稚内市立稚内東小学校

全体講演 鈴木 大裕 さん「子どもは地域の宝やき」

シンポジウム 「宗谷の教育と民主的學校づくり」

講座 ①稚内の再生可能エネルギー、②みんなで踊ろう！南中ソーラン！！、
③LGBTと学校教育、④算数～わかる！たのしい！この授業、⑤国語～話に花が咲くように「書くこと」を楽しく豊かに

分科会 ①国語、②社会・総合、③心とからだ（音楽・体育）、④集団づくり・インクルーシブ教育、⑤道徳



○第55回矢白別平和盆おどり

10月には矢白別で18回目となる海兵隊の移転訓練が強行されます。さらに年明けの1月には日米共同演習が予定されています。この1月の演習ではオスプレイの飛行訓練も行われようとしています。

今年で55回目となる矢白別平和盆おどりには、全国各地から多くの人々が参加し、平和への思いを新たにしています。道教組は、遠距離からの参加に一定の旅費補助を行っています。全道各地から参集しましょう。

日時 8月10日（土）

18:30 うたごえ交流、19:00 開会集会、21:00 ステージ交流

場所 矢白別平和碑広場（北海道別海町矢白別）